

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【公開番号】特開 2019-146606 (P2019-146606A)

【公開日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2019-036

【出願番号】特願 2018-31456 (P2018-31456)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 7 日 (2019.8.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
第 1 有利状態と該第 1 有利状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有利状態とを含む複数
種類の有利状態に制御可能な有利状態制御手段と、
遊技者にとって有利度が異なる複数段階の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な
設定手段と、
設定されている設定値を遊技者に示唆する設定示唆演出を実行可能な設定示唆演出実行
手段と、を備え、
前記設定示唆演出実行手段は、
前記有利状態が終了した後の所定期間内において前記有利状態に制御されたことに基
づいて前記設定示唆演出を実行可能であり、
前記第 1 有利状態が終了した後の前記所定期間と、前記第 2 有利状態が終了した後の
前記所定期間と、で異なる割合で前記設定示唆演出を実行可能である、
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、設定変更操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかに設定可能であり
、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチ
ンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値の変更前と変更後との
設定値に応じて、識別情報の可変表示中において麒麟、ゾウ、ライオンのいずれかを表
示して設定値の示唆を実行する遊技機があった（例えば、特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号
公報参照）。また、高確低ベース状態である所謂潜伏確変状態が繰返される遊技機があっ
た（例えば、特開 2 0 1 1 - 7 8 6 7 0 号公報参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】 特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号 公 報

【特許文献 2】 特開 2 0 1 1 - 7 8 6 7 0 号 公 報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

しかし、特許文献 2 のような遊技機で特許文献 1 のような設定を示唆する演出を実行する場合、設定を示唆する演出の実行契機については改善の余地があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定を示唆する演出の実行契機について注目させることができ、遊技の興味が向上する遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 ）であって、

第 1 有利状態と該第 1 有利状態よりも遊技者にとって有利な第 2 有利状態とを含む複数種類の有利状態（例えば、大当たり A、大当たり B、大当たり C、大当たり D ）に制御可能な有利状態制御手段と、

遊技者にとって有利度が異なる複数段階の設定値（例えば、設定値 1 ～ 3 ）のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段（例えば、CPU 1 0 3 が設定変更処理を実行する部分）と、

設定されている設定値を遊技者に示唆する設定示唆演出（例えば、図 2 1 - 6 に示す設定示唆演出）を実行可能な設定示唆演出実行手段と、備え、

前記設定示唆演出実行手段は、

前記有利状態が終了した後の所定期間内（例えば、大当たり D 終了後の高確低ベース 1 0 0 回の期間内）において前記有利状態（例えば、大当たり D ）に制御されたことに基づいて前記設定示唆演出を実行可能であり、

前記第 1 有利状態が終了した後の前記所定期間と、前記第 2 有利状態が終了した後の前記所定期間と、で異なる割合で前記設定示唆演出を実行可能である（例えば、大当たり A では設定示唆演出が実行されないが、大当たり D では設定示唆演出が実行されることがある）。

ことを特徴とする。

また、従来の遊技機として、特開 2 0 1 6 - 1 0 1 4 2 8 号 公 報 で 示 さ れ て い る よ う な

、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機がある。このような遊技機において、さらに演出効果を高めることが望まれている。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 ）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用 C P U 1 2 0 ）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図 9（ D ）、（ F ））。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。